

この夏こそはしまなみを走ろう！



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

今年の梅雨は、6月中にあまり雨が降らず、7月に入ってから本格的に降るというのが(一財)日本気象協会の予想ですが、この理由は「エルニーニョ現象」が発生するからであるとか。そして、エルニーニョの夏は冷夏であるそうですが、これを書いている6月半ばはすでに相当暑いです。ま、個人的には雨に降られての出張をする確率が低くなるのなら大歓迎であるわけで。さて、今回は「しまなみ海道」をテーマにしました。最近、『弱虫ペダル』という面白い自転車マンガを読んだので、その昔、自分がBIKEにハマっていた頃を懐かしく思い出したのです。

当方の母の里は、今治沖に浮かぶ大島なので、子供の頃からこの島嶼部には親しんでおりました。そして、大学院に在籍している頃、トライアスロンを始めたので、帰省の度にクルマにBIKEを積載して、高松から、国道と「今治～大島」間のフェリー利用で、現在の倍ほどの時間をかけて出掛けしておりました。時はバブル経済が絶頂期から崩壊に至る時期で、社会的な影響が本格的に出るのはまだ少し先です。

当時のしまなみ海道は、大三島橋に次いで、伯方・大島大橋がすでに供用されており、これらの橋を経由して大島＆伯方島＆大三島を周遊するコースの設定が可能になっていました。そこで、国土地理院刊行の2万5千分の1地形図を持参し、足の向くま、さまざまなスポットに立ち寄り、3島に対する経験値を増していました。もっとも、BIKEシューズはロードレーサーのペダルに足を固定するため、足裏に大きなクリートが付いているので、自転車を降りて、自在に歩き回るわけにはいきませんが。

こんなことを十数回も繰り返すと、各スポットの風景や休憩、補給ポイントを万遍なく把握し、それら間の距離、道路の道幅や勾配、路面の状態などの特徴も十分アタマに入り、すっかり「通(痛?)」になります。ただし、その頃は、例えよく晴れた夏の休日にBIKEを走らせていても、同好の士にあんまり出会うことはなく、道行く高齢者は、レーサージャージに身を包み、颯爽と(!)走っている姿にギョッと目を丸くしていました。子供たちは、「あっ、ケイリン！」と指さすのが常でしたが…。

そして、この島嶼部は、海と一体化して、実に景色がキレイなのに、なぜこんなに人気がないのだろうかとフシギでした。大三島など、一応観光地とはいえ、しょぼい観光地であることは否めませんでしたし、また、すでに立派な展望台が完成していた大島の亀老山に上がると、建設中の来島海峡大橋を挟んで多島美が視界一杯に広がるのに、他には誰も来ていないことが通常で、景色を独り占めできる贅沢をさんざん味わいました。

その頃愛読していた『サイクルスポーツ』という自転車雑誌で「読者のレイアウトしたオリジナルコースを秋の1泊2日で走る旅」を募集していたの

で、この島嶼部を推薦すると、数十通の応募の中から選ばれ、実際に(この島嶼部の存在をまったく知らなかった)雑誌の編集スタッフとともにコースを走り、同誌の平成2年11月号で4ページほどの紹介記事になりました。ま、推薦文では魚グルメがてんこ盛りのところを強調しており、そこにスタッフが食い付いたのだと思われますが、この島嶼部のPRにささやかながら貢献できたことでしょう。

さて、このような思い出を振り返ると、現在のしまなみ海道に対する世間の認識には隔世の感があります。世間といつても主に自転車乗りですが、「サイクリストの聖地」と崇められるようになっており、世界中のサイクリストに「一度は走ってみたい」とまで言わしめているとか。休日には、派手なレーサージャージに身を包んだ集団が次々と目の前を通り過ぎていくのを見ても、もう誰も目を丸くしなくなりました。そして、この島嶼部ではフツーに見られる「おもてなし精神」が、今やサイクリストに対しても各界各層で発揮されているとか。

この秋には日本最大級の国際サイクリングイベントとして、「サイクリングしまなみ」が開催されるそうで、今後のますますの飛躍が期待されます。島だけでは大してぱっとしなかったこの島嶼部に、まさに「しまなみ海道が天から降ってきた」わけで、(次の世代に繋ぐためには)ずいぶんラッキーな話ですね。最近、香川県でも「うどん県。それだけじゃない香川県プロジェクト」の一環で、「瀬戸内海編」として県内の島嶼部を売り出していますが、こればかりは、香川県がどんなに頑張ってイメージ戦略を行っても簡単には勝てないものと思われます。

このように書いていて、自分も久々にしまなみ海道を走りたくなってきました。そこで、久しく乗っていなかったBIKEを磨き、準備は万端、この夏には必ず走ろうと心に決めております。ただし、当方が詳しいのは前述したように大島＆伯方島＆大三島だけなので、その他の島々の情報も欲しいところです。そのように思っていたところ、タイミング良く、しばらく絶版になっていた『しまなみ島走BOOK』という本が改訂されたので、早速取り寄せた次第です。「NPO法人シクロソーリズムしまなみ」発行のこの本は、しまなみ海道を自転車で走破するためのガイドで、自転車に特化している点に特徴があります。一読してみると、評判に違わず、きめ細かい情報提供がすばらしく、実に至れり尽くせりで、ずいぶん便利になったものですね。

後は自分で実際に走って、自分なりの新たなオリジナルコースを作り出す楽しみがあります。なんと言っても、「ベースキャンプ」があるので、他所から、しんどい、不自由な思いをしてまで行くわけではないところが個人的な強みです。さらに、当方は離島マニアでもあるので、来島海峡大橋を「馬島」で途中下橋して、「馬島～小島～来島～波止浜」と回る航路の乗船もついでにお勧めしておきます。

中央会だより 1

平成26年度通常総会を開催

本会は6月5日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら120名並びに来賓多数のご出席のもと、平成26年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 平成25年度事業報告書並びに決算書承認の件(原案通り承認)
- 第2号議案 平成26年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件(原案通り承認)
- 第3号議案 平成26年度会費承認の件(原案通り承認)
- 第4号議案 平成26年度借入金残高最高限度額承認の件(原案通り承認)
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件(次ページのとおり選任)



▲挨拶をする国東会長

議案審議終了後、国東会長より「現政権による大胆な金融政策と機動的な財政政策の効果により、円安・株高が進行し、デフレ経済から脱却する兆しがあるなど景況感も上向きつつあります。しかしながら、中小企業においては、燃料・原材料等の高騰や電力料金の値上げ等によるコスト増により依然として低い水準に止まるなど景気回復を伴わない厳しい状況が続いております。また4月の消費税増税の影響を和らげるため、本会が地域事務局を担当する『ものづくり・商業・サービス補助金』が昨年度に続き実施されており、中小企業施策の実施機関として、様々な施策に積極的な企画提案を行い、迅速かつ円滑な事業遂行によりまして、県内中小企業の振興・発展のために尽力してまいります。」と挨拶がありました。

続いて来賓を代表して四国経済産業局産業部長藤澤清隆様、香川県議会副議長黒島啓様より祝辞を頂きました。

した。会場を移しての懇親会では、香川県浜田恵造様のご祝辞、商工組合中央金庫高松支店長堤三一様の乾杯の発声により、なごやかな雰囲気のもと会員相互の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲総会会場(高松国際ホテル)



▲懇親会の様子

平成26年度事業の重点項目

1. 既存の中小企業組合に対する経営環境に対応した支援
2. 新規組合の設立・新連携等新たな組織化の促進
3. 小規模企業等の経営力向上、活性化支援
4. 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス業革新事業
5. 組合青年部活動に対する支援
6. 中小企業の公正な競争環境実現のための支援
7. 中小売商業・サービス業等の活性化支援
8. 雇用・労働関係事業の推進
9. 外国人技能実習制度に関する適正化支援
10. 地域経済・産業振興支援の推進
11. 関係機関との連携・協力関係の強化
12. 政策提言活動及び広報活動の強力な推進

香川県中小企業団体中央会役員名簿

(平成26年6月5日現在)

役職名	氏 名	所属組合名	新任・再任
会長	国東 照正	香川県信用組合	再任
副会長	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	再任
//	細溪 英一	協同組合日専連高松	再任
//	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	再任
//	大内 泰雄	香川県商店街振興組合連合会	新任
専務理事	村井 真明	専 徒	新任
常任理事	榎 久雪	香川県火災共済協同組合	再任
//	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	再任
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	再任
//	大峯 茂樹	本場さぬきうどん協同組合	再任
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	再任
//	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合	再任
//	川畠 政廣	香川県タクシー協同組合	再任
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	再任
//	太田 元	庵治石開発協同組合	新任
//	吉田 勤	日本手袋工業組合	新任
理事	鎌田 郁雄	香川県醤油工業協同組合	再任
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	再任
//	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	再任
//	神原 満	川重坂出事業協同組合	再任
//	辻村 啓一	香川県碎石事業協同組合	再任
//	山下 正一	香川県電気工事業工業組合	再任
//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	再任
//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	再任
//	鳥居 弘明	小豆島調理食品工業協同組合	再任
//	佐々木正富	建設協同組合高松総合センター	再任
//	中村 新一	香川県家具商工業協同組合	再任
//	木下 敬三	香川県製粉製麵協同組合	再任
//	日下 雅彦	香川県不動産事業協同組合	再任
//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合	再任
//	川原 陞	香川県美容業生活衛生同業組合	再任
//	三好 忠廣	香川エルピーガスクリーン協同組合	再任
//	斎藤 孝	香川県建築設計協同組合	再任
//	田中 邦彦	香川県食糧事業協同組合	再任
//	香西 幸夫	香川県建築事業協同組合	再任
//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	再任
//	坂本 智	香川県屋外広告美術協同組合	再任
//	高松 斎	小豆島手延素麺協同組合	再任
//	森 茂	香川県造園事業協同組合	再任
//	佐々木敏晴	香川県漆器工業協同組合	新任
//	奥田 章雄	香川県印刷工業組合	新任
//	土居 正明	中央会青年部会長	再任
監事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合	再任
//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング	再任
//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合	再任

中央会だより 2

雇用の維持と求人の確保等に関する協力要請

6月3日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用の維持と求人の確保等に関する協力要請がありました。

本県経済は、消費税引き上げの影響による振れを伴いつつも、基調的には穏やかな回復を続けていますが、海外経済の動向など不透明な部分があり、雇用情勢に関しても改善しつつあるものの、一部厳しさが残っております。

今回は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し地域経済の維持・回復に向けた雇用対策を推進するため、雇用の維持と求人の確保について協力を要請するものです。

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力を願いいたします。

- (1)雇用の維持と求人の確保について
- (2)正社員としての雇用の確保について
- (3)新規学卒者の採用枠の拡大について
- (4)女性の活躍促進と働きやすい就業環境の整備について



▲要請を受ける村井専務理事(右)

中央会だより 3

平成26年度中小企業活路開拓調査・ 実現化事業第2回実施団体の募集について

全国中央会では、標記事業につき、実施団体の募集を下記のとおり実施することとなりましたので、ご案内致します。

1. 募集事業の種類

- (1) 中小企業組合等活路開拓事業（展示会等出展事業を含む）
- (2) 組合等情報ネットワークシステム等開催事業
- (3) 連合会（全国組合）等研修事業

2. 補助金額

(1) 中小企業組合等活路開拓事業	11,588千円※
（ただし、展示会等出展事業は、1,200千円）	
(2) 組合等情報ネットワークシステム等開発事業	11,588千円※
(3) 連合会（全国組合）等研修事業	2,100千円

※中小企業組合等活路開拓事業（展示会等出展事業を除く）及び組合等情報ネットワークシステム等開発事業については補助金の下限額を1,000千円とする。

3. 募集期間（全事業共通）

平成26年6月13日（金）～8月18日（月）

●締切：平成26年8月18日（月） 必着

*予算枠に達した時点で終了します。

詳しくは、平成26年度活路事業特設サイトで「応募書類様式」や「募集要綱」をダウンロードすることができます。

HP : <http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/26katsuro-project.htm>

又は、香川県中央会（電話：087-851-8311）にお問い合わせください。

FROM青年部

平成26年度通常総会を開催

6月17日、本会青年部はオークラホテル高松（高松市城東町）において青年部会員45名と来賓多数出席のもと、平成26年度通常総会を開催しました。

総会では、土居正明会長より「各団体の直面する課題は共通であることを意識し、解決に向けて情報の共有を図ってもらいたい」との挨拶がありました。

その後、議案の審議が行われ平成25年度事業報告、決算報告並びに平成26年度事業計画、収支予算など、全議案が満場一致で承認されたほか、任期満了による役員改選が行われ、土居会長が引き続き会長に選任されました。

続いて、ご臨席を頂いた来賓の皆様を代表して、四国経済産業局産業部長藤澤清隆様、香川県議会副議長黒島啓様より、懇親会席上において香川県知事浜田恵造様よりご祝辞を賜りました。

懇親会では、退任された役員の方々の挨拶や新役員紹介も行われ、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の懇親を深め、盛会のうちに終了しました。

会長	土居 正明(香川県電気工事業工業組合)
副会長	竹内 紀仁(香川県テントシート工業組合)
//	木村 一夫(香川県板金工業組合)
//	山田 雄士(讃岐石材加工協同組合)
//	請川 和豊(香川県中古自動車販売商工組合)
//	近石 真人(中讃建設業協同組合)



▲土居正明青年部会長挨拶



▲総会の様子

FROM青年部

全青中通常総会（於 宮崎市）へ参加

6月13日、ニューウェルシティ宮崎（宮崎市）において全国中小企業青年中央会平成26年度通常総会が開催されました。当日は全国から約300名が出席、本会からは土居会長含め2名が出席しました。

総会に先立ち開催された全国代表者会議では、今後の全青中の方向性やそれぞれの青年中央会が抱える問題、対応策等についてディスカッション形式での話し合いが行われました。

総会では、全議案が満場一致で承認された他、任期満了による役員改選において上山泰寛会長（宮崎県）が退任され、新たに佐藤康会長（岩手県）が就任、本会・土居会長が全青中理事に就任いたしました。

多彩なアイディアと実行力で九州の地域経済を盛り上げておられる㈲一平・村岡浩司社長による講演会、懇親会等、終始和やかな雰囲気のもと、全国各地の会員とそれぞれ交流を深めることができました。

翌14日は、市内ホテルにて四国ブロック総会が開催され、愛媛県金井会長がブロック会長、土居会長が副会長に就任、今後の四国ブロック事業の方向性について協議しました。



▲全国総会会場

NEWS

1

ゆるキャラ「漆のようせい」を公認

香川県漆器工業協同組合

香川県漆器工業協同組合(佐々木敏晴理事長)は「漆のようせい」を香川漆器PRの公認キャラクターとして発表しました。

この「漆のようせい」は、高松工芸高校デザイン科の生徒たちの発案で、1年かけて漆のアピール方法を研究した成果の一つです。香川漆器の技法である「蒟醤(きんま)」や「彫漆(ちょうしつ)」などの各技法の特徴を名前や姿に表現し、親しみやすい風貌の5体を編み出しました。

佐々木理事長は「若い感性を業界の発展に活かしていきたい。キャラクターをきっかけに、若い人にも漆器に興味を持ってもらえれば」と話していました。

また、「漆のようせい」を発案した、デザイン科の在校生や卒業生が中心となって「麗漆社(うるわししゃ)」を結成。今後も組合と生徒たちで連携しながら活用策を検討し、香川漆器の魅力をPRしていきます。



▲キャラクター「漆のようせい」

NEWS

2

庵治ストーンフェア2014を開催

協同組合庵治石振興会

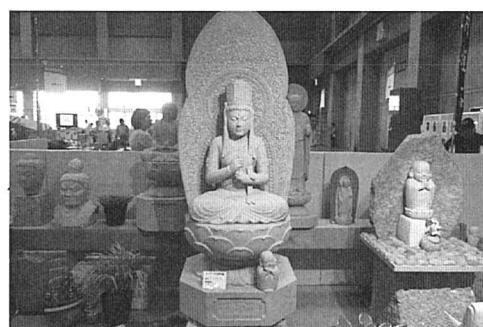
6月14日、15日にサンメッセ香川(高松市)において、協同組合庵治石振興会(岡谷明照理事長)主催「庵治ストーンフェア2014~匠イノベーション~」が開催され、庵治や牟礼を中心に石材業者など約130社が参加、伝統の技術で加工した商品など3,000点が出展されました。

今年は「豊かなる生活空間の創造」をサブテーマに、「墓石だけじゃない庵治石材産地」をPRする企画展示コーナーが設けられた他、講習会も開催されました。

また、「庵治ストーンフェア表彰」においては12作品が受賞。香川県中小企業団体中央会会長賞には森岡量基氏の「大日如来」が選ばれました。

その他、毎年恒例となっている「石匠庵神レムジアショー」「庵治石大丁場見学ツアー」も実施され、大勢の人で賑わいました。

中央会青年部も昨年に引き続き、会員組合事業のPRを目的にブース出展し、香川県板金工業組合、香川県印刷工業組合が参加、銅板小物や、讃岐の風景を描いたポストカード等の展示販売を行いました。



▲森岡量基氏「大日如来」



▲青年部ブースの様子

お知らせ 1

「県民防災週間2014シンポジウム」開催についてのお知らせ ～香川県危機管理課～

香川県では、7月15日から21日までの一週間を「県民防災週間」として定めており、県民の皆様に防災についてあらためて考えていただけるよう、期間中の7月21日(月)に、「県民防災週間2014シンポジウム」を開催します。

このシンポジウムでは、「南海トラフ地震に備えて私たちが今できること」をテーマとして、関西大学の河田惠昭先生と明治大学の中林一樹先生を講師にお迎えし、南海トラフ地震への心がまえやその対策についてご講演をいただきます。

なお、定員に限りがありますので、参加を希望される方は、香川県危機管理課(TEL:087-832-3242)までお問合せください。

◆日 時:平成26年7月21日(月・祝)13:30~16:30(開場12:30)

◆会 場:香川県社会福祉総合センター1階コミュニティホール(定員250名 先着順)

詳しくは、『かがわ防災Webポータル』(<http://www.bousai-kagawa.jp/>)の「お知らせ情報」をご覧ください。

お知らせ 2

夏季の節電・省エネルギー対策のお願い ～四国経済産業局～

今夏の電力需給は、東日本から電力融通を行わないと中部及び西日本全体で予備率3%を確保できないほど昨夏よりも大変厳しい状況です。四国電力管内においては、安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しですが、大規模な発電所のトラブルが発生した場合、安定供給が出来ない可能性が懸念されていますので、7月1日から9月30日までの平日(8/13~15を除く)、9:00~20:00までの間、節電へのご協力をお願いします。

節電メニュー(例)

空 調 -----

- 室温28℃を心がける。(設定温度+2℃の場合 節電効果10%)
- エアコン使用時に“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。(節電効果10%)
- 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。(節電効果50%)

※熱中症にご注意下さい。適切な室温管理や水分補給に注意し、無理のない範囲でご協力下さい。

照 明 -----

- 日中は不要な照明を消す。(節電効果5%)
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球型蛍光ランプやLED電球等を選択する。

景況は反動減からの脱却を見通せない状況

2014年5月

5月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-29.2ポイントで前月調査の-10.4ポイントから18.8ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-16.6ポイントで前月調査の-18.7ポイントから2.1ポイントの改善、収益DI値は-29.2ポイントで前月調査の-27.1ポイントから2.1ポイントの悪化となった。4月は主要3指標が悪化となつたが、5月も景況及び収益状況は下げ止まつておらず、原材料高や燃料高等のコスト高の影響が重なつていていることを指摘する声も多く、反動減からの脱却を見通せない状況となっている。

香川県内の業種別DI値の変化(対前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況																				
製造業	食料品	☁	☁	☀️	☁	☁	☁	☁	☁																				
	繊維・同製品	☁	☁	☀️	☁	☁	☁	☁	☁																				
	木材・木製品	☂	☂	☁	☁	☂	☂	☁	☂																				
	印刷	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☂																				
	窯業・土石製品	☀️	☀️	☁	☂	☁	☂	☁	☂																				
	鉄鋼・金属製品	☀️	☂	☁	☁	☀️	☀️	☀️	☀️																				
	一般機器製造業	☀️	☀️	☁	☀️	☁	☀️	☁	☁																				
	輸送用機器	☂	☁	☁	☁	☁	☂	☂	☁																				
	その他	☂	☁	☀️	☁	☁	☁	☁	☁																				
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁																				
	小売業	☂	☀️	☁	☁	☂	—	☁	☂																				
	商店街	☂	☀️	☀️	☁	☂	—	☁	☂																				
	サービス業	☂	—	☁	☁	☂	—	☀️	☂																				
	建設業	☀️	—	☀️	☁	☀️	—	☀️	☀️																				
	運輸業	☁	—	☁	☁	☂	—	☁	☂																				
	その他	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁																				
DI値(当月)		-16.6	0	12.5	-4.2	-29.2	-12.5	-4	0	-29.2																			
DI値(前月)		-18.7	-19.4	18.7	0	-27.1	-4.2	4	2.1	-10.4																			
<table border="1"> <tr> <td>好転 ☀️</td> <td>やや好転 ☁</td> <td>変わらず ☁</td> <td>やや悪化 ☁</td> <td>悪化 ☂</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30以上</td> <td>10~30未満</td> <td>10未満~▲10</td> <td>▲10超~▲30未満</td> <td>▲30以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										好転 ☀️	やや好転 ☁	変わらず ☁	やや悪化 ☁	悪化 ☂						30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上					
好転 ☀️	やや好転 ☁	変わらず ☁	やや悪化 ☁	悪化 ☂																									
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上																									

DI(ディフュージョン・インデックス)…前年同月と比較した企業の景況感を示す業況判断指数

計算式:(「増加」「好転」した組合数-「減少」「悪化」した組合数)/有効回答組合数×100

※ただし、在庫総数についてはDI値マイナスの場合には好転、プラスの場合には悪化の方向とします。

※中央会では、県内の地区業種を代表する中小企業組合の役職員(19業種、48名)を情報連絡員として委嘱しており、本調査報告は、連絡員からの景況報告をもとに毎月集計しております。

業界情報

【食料品】

- 出荷高は対前年同月比86.5%。(調理食品)
- PED(豚流行性下痢)の影響による原料価格の上昇は一旦落ち着きつつあるが、いまだ高値で推移している。北米における出荷頭数の減少は6月以降に深刻な状況となってくることが予測されているため、状況は不透明である。(冷凍食品)
- 組合員の業況については消費税増税による駆け込み需要の際の在庫調整の影響で、4月5月はその対応に尽力している模様であると推測される。当組合の4月～5月の出荷数量は前年同期比85.7%と大きく低下している。過去の経緯から推測すると上半期の出荷量の低下は年度末(来年3月末)まで持ち越されることが予測される。6月～7月のお中元向けの需要量が上半期の回復のポイントとなると考えられる。(醤油)
- 夏商戦に増税の影響が大きいと思われる。組合員の高齢化に歯止めがきかず今年度冬製造の素麺の生産が減少する。(手延素麺)

【織維・同製品】

- 平成25年度の組合員の販売実績は厳冬にもかかわらず厳しい状況であり、円安のため収益状況も圧迫されている。(手袋)

【木材・木製品】

- 当組合の組合員の構成は規模の大きい事業所は製造卸、小さな事業所は製造小売となっている。5月については規模の大きい事業所は4月に消費税が増税となつたため、従来の商取引が出来ていないのが現状である。4月5月は從来の6～7割程度で、小規模な事業所についても4月5月は8～9割程度であり、6月になり徐々に回復してきているが厳しい状況下にあることに変わりない。(家具)

【木材・木製品】

- 5月は消費税増税前の駆け込み需要の反動で2～3割の減少があり、6月もこの傾向が予想される。プレカットは対前年比80%の稼働率。(製材)

- 資材等の需要が減少、見通しが立たない。(木材)

【印 刷】

- 3月の駆け込み需要の反動もなく、4月に引き続き今月も堅調に推移したとの組合員からの報告がある一方、3月の売上増加分を5月に入り取り崩しつつあるとの報告もあります。ただ、同時に6月からの売上動向に対しては不安視している現況です。コスト面では大きな変動なく推移しています。(印刷)

【窯業・土石製品】

- 碎石等原材料の値上げ分を含め値戻しを実施しているが他地区への荷の流出がどの程度になるかが懸念材料として出てきている。(生コンクリート)
- 4月までは休日操業の事業所が多数見られたが、5月のGW明けから通常稼働になり、いつもの日常に戻った。これからが不安な時期に増税の影響が落ち着くのを待っていた原材料や資材の業者が値上げを通知しており、不安因子は増えばかりである。(石材加工)

【鉄鋼・金属】

- 消費税増税の影響はさほど無く、在庫調整による減産も見受けられなかったようであるが、燃料費、電力費、各種資機材のコストアップはじめじわじわと経営を圧迫しかねない状況であり、売上高増で影響を最小限にするより他に道無しといったところである。(鍛金)

【一般機器】

- 財政出動により公共工事の受注量が昨年同期に比べ大幅に増加している。特に建設用の構築物製造事業者においては徐々に回復基調にあった昨年に比べ今期は高操業が継続しており、時間外による仕事量の消化が常態化した。ただ、雇用面は増員までは考えておらず、現有的要員にて凌ぐこととなる。背景としては民需への波及効果が疑念されており、且つ消費税増税の影響も考慮しての判断である。建設用クレーンは前期に続き海外では北米を中心に資源開発が活発なため生産増の影響を受け、大型クレーンの受注が好調に推移し生産量は拡大を続けている。これら大手製造メーカーの順調な生産に支えられて中小下請事業所も受注は継続し、フル生産体制にあり、人手不足感はあるが増員までは踏み切れない。2014年造船不況と言われていた船用圧力容器、荷役付帯設備等造船関連事業は南米におけるエネルギー資源の需要増と円安の影響によりLNG船を中心とした受注が伸びており、受注環境は今後とも順調に推移するものと思われる。ただ、建造単価が安いために造船関連事業は従来の値引きに加え安値受注の影響により、価格は一層厳しい状況にある。(一般産業用機械・装置)

【輸送用機器】

- メインドッグの工期が2ヶ月延びたため、工事量は少なく人員も変わりません。(造船)

【その他製造業】

- 業界全体に受注状況は良くないと言える。注文が遅れている等の理由もあるが新規の受注が減少していると思われる。(団扇)
- 毎年恒例の「香川の家具とぬりもの新作見本市・家具と漆器フェア」を開催した。前半のバイヤーを対象とした見本市は前年より10%程度少ない来場者、また一般を対象としたフェアは10%アップの来場者となった。バイヤーの減少は消費税増税の影響もあるが翌週に広島県の福山市を中心とした中国地方の見本市が予定されていて来場者の分散があったと思われ、今後は開催時期の調整が必要かと思われる。(漆器)

- 5月の業況は前月と同様の前年同月の売上から減少しています。しかし1～2割程度の減少幅で月末にかけて少し売上が上がってきました。増税後の買い控えから少し反発してきたのではないかでしょうか。(綿寝具)

【小売業】

- ようやく景況がもどってきた感がある。しかしながら前年並でこれからの売上の上昇を期待している。(青果物)

- 消費税増税後の消費者の節約志向が強まり、売上が10%程度の減少となつている組合員が多い。価格面も3～5月にかけて5円程度卸価格が値上がりしたが、競争激化から価格競争できておらず厳しい収益状況が続いている。(石油)

- 消費税率アップ前の駆け込み特需の反動で5月も前年に比べ大きく売上、収益がダウン、4～5月は大幅な売上のダウントンである。6月12日からサッカーのワールドカップが開催されることから4Kテレビに期待するしかない。また、今年も猛暑になると予想しているが程度は駆け込みで販売しているので、エアコンがどこまで売れるか予想できない。(電機)

【商店街】

- 日用品や高級ブランドバッグ、宝飾時計を除きGW頃から消費が回復してきているように思われる。秋頃までかかると考えていた回復が思ったより早く6月には前年並みまで数字が戻ってくるのではないか。閉店した南部の百貨店の需要が近隣に流れさせてきていることもあると考えられる。(高松市)

- GW期間中のこどもの日に商店街で昨年に引き続き理容組合と共にイベントを行いました。イベント費用は商店街にとって少額ではありませんが、回を重ねていくことで意義があるのかもしれません。商店街は個々の店は休業が多く、組合員の参加が少ないと残念です。(高松市)

- 連休期間中に「丸亀お城祭り」が行われ、天気も良く商店街にも大勢の人が繰り出しましたが、売上に結びついたという話は聞かれなかった。5月には各商店街で総会が開催され、役員改選も行われたが役員のなり手がないという話を各先で聞いた。(丸亀市)

【サービス業】

- 消費税の駆け込み需要が一段落するとやはり仕事量は県内では、はかばかしくない。中央との結びつきのある企業も金額面で出しあしめにより利益が減少している。(ディスプレイ)

- 5月は対前年比で13%のダウンであった。消費税アップのあと回復基調の兆しが見えず、苦戦中である。(旅館)

- 将来の拡大に備えて人材投資、設備投資を行っている会社がある。(情報)

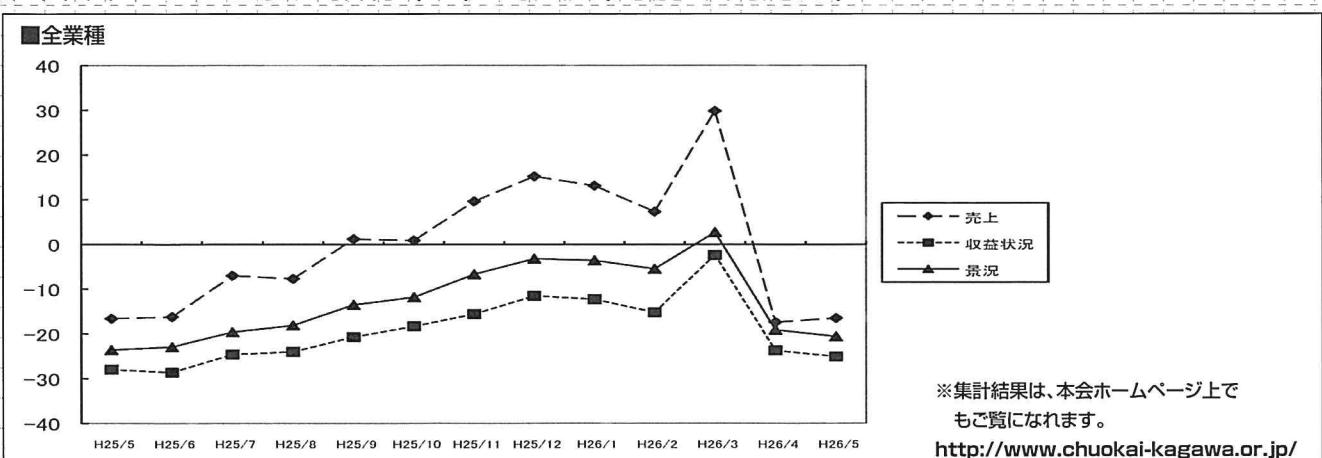
【運輸業】

- 地方の景気回復の遅れのため運送収入、輸送人員の減少が続いている厳しい経営状況である。また、燃料であるLPG価格の高止まりが経営を圧迫している。(タクシー)

- 平成26年4月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は32.6%増となつた。これは利用車両数の対前年同月比は4.1%の増加に止まっていることから、本年4月からの新割引制度の変更による影響かと思われる。(トラック)

- 5月に入り輸送量が落ち込んでおり、僅かではあるが昨年を割り込んでいる。消費税増税の影響で、ストックできる商品はまだ動いていない。またドライバー不足、車両不足は改善されておらず、他の業種でも人材不足を耳にする。高速道路料金は7月1日より平日朝夕割引の適用が決定したので、少し期待できる。燃料価格については値下げの兆しはない。(貨物)

全国集計による主要3指標(DI)の推移(対前年同月比)



商工中金だより

独立行政法人日本貿易保険(NEXI)と連携し、「NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資」制度の取扱いを行っています。

【『NEXI貿易保険付債権譲渡担保融資』制度】

貸付対象者	以下の2点を充足される方 ①NEXIの貿易保険が付保された輸出代金債権を保有する法定中小企業 ②商工中金の株主となって頂いている中小企業団体とその構成員の皆様 ◆中小企業等の皆さんで、現在中小企業団体の構成員になられていない方は最寄りの商工中金各支店にご相談下さい。				
貸付形式	手形貸付	資金用途	運転資金	貸出通貨	日本円、米ドル
貸付条件	【貸付額】(日本円)輸出代金債権額を上限 (米ドル)100千ドル以上、且つ、輸出代金債権額を上限とする 【利率】当金庫所定の利率 【利払方法】(日本円)一括前払い、(米ドル)一括後払い 【貸出期間】担保とする輸出代金債権の決済期日とする(原則1年未満) 【償還方法】期限一時				
担保	①債権譲渡禁止特約がない輸出代金債権 ②NEXI貿易保険保険金請求権				
保証人	必要に応じて提供いただきます				
その他	融資に際しては当金庫の審査が必要となります。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。				

なお、詳細につきましては、商工組合中央金庫 高松支店までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL:087-821-6145
FAX:087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのご案内 ●

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫 高松支店 中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金 (固定金利型)	6億円	特別利率③ (上限3%) ただし、6年目以降は 基準利+0.2% (上原3%)	6億円	設備 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	特別利率①②③	5億4千万円	設備 運転 20年 7年
新事業活動促進資金 (固定金利型)	7億2千万円	特別利率①③	2億7千万円	設備 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	特別利率①②③ 特省エネ利率	4億円	設備 運転 20年 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	特別利率①③	2億7千万円	設備 運転 7年	経営環境変化 対応資金	7億2千万円	基準利率 (※)	—	設備 運転 15年 8年
企業活力強化資金	7億2千万円	特別利率①②③	2億7千万円	設備 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% (上限3.5%) 基準利率+1.0% (上限3.5%)	—	設備 運転 10年 5年
海外展開資金	7億2千万円	基準利率 (上限3%) 特別利率①②③ (上限3%)	2億7千万円	設備 運転 7年	企業再建・ 事業承継支援資金	7億2千万円	基準利率 (上限3.5%) 特別利率①③ (上限3.5%)	4億円	設備 運転 20年 15年

(※)長期運転資金に限り、上限3%

(注)同一貸付でも、信用リスクや融資期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

融資制度内容

経営環境変化資金(セーフティネット貸付) ~最大0.5%引下げ~

ご融資の対象	社会的、経済的環境の変化により、一時に売上や利益が減少する等、業況が悪化している方
ご融資限度額	4,800万円 [生活衛生セーフティネット貸付(運転資金のみ)の融資限度額は5,700万円です。]
ご融資利率	基準利率(1.40%~2.90%) ただし、運転資金のうち次に掲げる要件に該当する場合は、それぞれに定める利率が適用されます。 ①雇用の維持又は拡大を図る場合は、「特別利率G(1.30%~2.40%)」 ②次のすべての要件を満たす場合は、「特別利率T(1.00%~2.10%)」 (イ) 認定経営革新等支援機関又は公庫の経営指導を受けて事業計画を作成すること (ロ) 最近の決算期において、借入負担が重く経営の改善に迫れていること

IT資金(企業活力強化貸付) ~情報化の推進を図るみなさま~

ご融資の対象	情報化の推進を図る方(情報技術の活用により業務方法などの経営革新を図ろうとする方など)
お使いみち	①コンピュータ(ソフトウェアを含みます) ②周辺装置(モ뎀などの通信装置など) ③端末装置(多機能情報端末など) ④被制御設備 ⑤関連設備(LANケーブルや電源装置など) ⑥デジタルコンテンツ関連設備(デジタル撮影・録音機器など) ⑦関連建物・構築物
ご融資限度額	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
ご融資利率	基準利率(1.40%~3.10%) 特別利率A(1.00%~2.70%) 特別利率C(0.50%~2.20%) 特定の目的に使用される設備を取得する資金については特別利率Cが適用されます

※利率は平成26年6月11日現在です ※お使いみち、ご返済期間、担保・保証人の有無等により異なる利率が適用されます。 ※ご相談の結果、お客様のご希望にそえないことがあります。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

厚生労働大臣認定の「くるみん」マークを受けましょう

■認定制度とは

行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の認定を受けることができます。認定を受けた事業主は、次世代認定マーク（愛称：くるみん、図）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをアピールすることができます。

■認定基準について

認定を受けるためには、行動計画の計画期間が終了し、認定基準を全て満たすことが必要です。

■次世代法の認定を受けた事業主に

対する税制優遇措置について

次世代育成支援対策推進法の認定を受け、「くるみん」を取得した事業主に対する税制優遇制度が創設されました。

新築・増改築をした建物等に付き、認定を受けた事業年度において割り増し償却をすることができます。

■お問い合わせ先

香川県中小企業団体中央会・連携支援部（次世代育成支援対策推進センター）TEL:087-851-8311



タイトル 勝ち抜く企業のマーケティング戦略

○日 時	平成26年8月5日(火)～7日(木) [3日間]
○会 場	中小企業大学校 関西校
○対 象 者	経営幹部（部長、工場長、部門長クラス（経営後継者含む）） 管理者（課長クラス）
○受 講 料	31,000円（税込）
○定 員	30名
○特 色	①マーケティングの意義やその重要性を学んだ上で、管理者に求められる役割と能力について学びます。 ②顧客の視点からマーケティング戦略を策定する手順を学びます。 ③自社における営業活動の現状分析を行い、マーケティング戦略の今後の課題を検討します。

●お問い合わせ先

中小企業基盤整備機構近畿支部

中小企業大学校関西校

兵庫県神崎郡福崎町高岡

TEL.0790-22-5931

○講 師 5S経営研究所株式会社 山名 敏文（やまな としふみ）

※詳細情報 <http://www.smrj.go.jp/inst/kansai/list/details2014/085679.html>

Book RANKING 県内ベストセラー



順位	書 名	著 者	出版社／定価
1	日本改革原案 2050年成熟国家への道	小川 淳也	光文社／1,512円
2	食べものだけで余命3ヶ月のガンが消えた	高遠 智子	幻冬舎／1,188円
3	村上海賊の娘(上)(下)	和田 竜	新潮社／各1,728円
4	しない生活 煩惱を静める108のお稽古	小池 龍之介	幻冬舎／842円
5	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社／1,620円

香川県書店商業組合調べ

ご活用ください。 産業雇用安定センター

(当センターは、厚生労働省と連携・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業者支援活動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。)

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

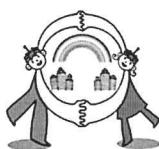
- 人材の受入(途中採用)や人材の送出(雇用調整による再就職支援など)をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

お問い合わせは



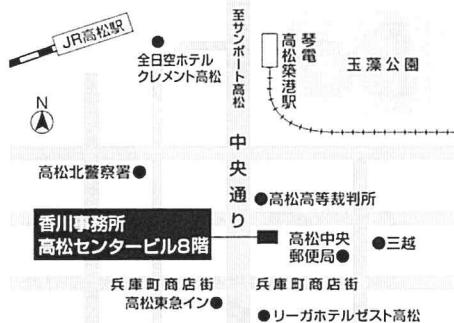
公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20(高松センタービル8階)



TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間
9:00~17:00
(土・日・祝日は除く)



URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/> E-mail kagawa-j2@sangyokoyo.or.jp 左記のセンターホームページでは求人情報を提供しています。